

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動器系理学療法学実習		必修	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
関口 賢人 他	D306	y-sekiguchi	月曜日 16:00~17:00		
授業の目的・概要	臨床において多様な運動器疾患に対して各疾患に合わせた適切な理学療法を実践する能力が求められる。運動器系理学療法学実習は、各運動器疾患に対して実際の臨床現場を想定した適切な評価、治療方法を実践する能力を身に付けることを目的とする。授業は各対象疾患ごとに講義と実技形式を合わせて行う。				
学習上の助言	運動器系理学療法学で学んだ知識を復習しておくこと。				
教科書	特になし。				
参考書	整形外科理学療法の理論と技術/編：山崎勉/メジカルビュー社				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	運動器疾患に対する理学療法評価、治療方法について説明できる。			PT (1)、(5)、(6)	
②	運動器疾患に対する理学療法評価、治療方法を実践することができる。			PT (1)、(5)、(6)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	運動器系理学療法総論について学習する。 [担当;関口]	講義・実技	運動器系理学療法学で学んだ知識や技術をまとめる。	1	
2	運動器系理学療法総論について学習する。 [担当;関口]	講義・実技			
3	変形性股関節症の理学療法(評価法・治療法)について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技	運動器系理学療法学の変形性股関節症の内容をまとめる。	1	
4	変形性股関節症の理学療法(評価法・治療法)について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技			
5	変形性膝関節症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技	運動器系理学療法学の変形性膝関節症の内容をまとめる。	1	
6	変形性膝関節症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技			
7	脱臼、靭帯損傷①(肩関節脱臼、前十字靭帯損傷等)の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技	運動器系理学療法学の脱臼、靭帯損傷①、②の内容をまとめる。	1	
8	脱臼、靭帯損傷②(足関節靭帯損傷等)について理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義、実技			
9	肩関節周囲炎、腱板損傷の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技	運動器系理学療法学の肩関節周囲炎の内容をまとめる。	1	
10	肩関節周囲炎、腱板損傷の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技			
11	関節リウマチの理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義・実技	運動器系理学療法学の関節リウマチの内容をまとめる。	1	
12	関節リウマチの理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;粕山]	講義、実技			
13	大腿骨頸部骨折等の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義、実技	運動器系理学療法学の骨折①、②の内容をまとめる。	1	
14	橈骨遠位端骨折等の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義、実技			
15	腰痛症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義、実技	運動器系理学療法学の腰痛症の内容をまとめる。	1	
16	腰痛症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義、実技			
17	脊髄損傷(頸髄)の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義・実技	運動器系理学療法学の脊髄損傷(頸髄)の内容をまとめる。	1	
18	脊髄損傷(頸髄)の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義・実技			
19	脊椎圧迫骨折・側弯症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義・実技	運動器系理学療法学の脊髄損傷(腰髄)の内容をまとめる。	1	
20	脊椎圧迫骨折・側弯症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義・実技			

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

21	スポーツ外傷・障害の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;遠藤]	講義・実技	運動器系理学療法学のスポーツ外傷・障害の内容をまとめる。	1					
22	スポーツ外傷・障害の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;遠藤]	講義・実技							
23	骨壊死疾患、骨形成不全（側弯症）の理学療法について臨床現場を想定して学習する。 [担当;関口]	講義・実技	運動器系理学療法学の骨壊死の内容をまとめる。	1					
試	定期試験（達成度評価・評価のポイントを参照）								
達成度評価									
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		100	0	0	0	0	100		
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50		
	思考・推論・創造する力	50	0	0	0	0	50		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	各運動器疾患に対する理学療法評価、治療方法について筆記試験（100%）を行う。				試験結果に関する講評と解説を行う。		
	②	✓							
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
担当教員：◎関口 賢人、粕山 達也、遠藤 悠介 【実務経験のある教員による授業科目】 教員（主担当）の実務経験：教員の実務経験：運動器系理学療法（徒手理学療法）を中心に、理学療法士として病院、整形外科診療所、スポーツ現場での実務経験あり。 実践的授業の内容：運動器疾患に対する臨床場面を想定し、各運動器疾患に対して実際の臨床現場を想定した適切な評価、治療方法について講義、実技を行う。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。									